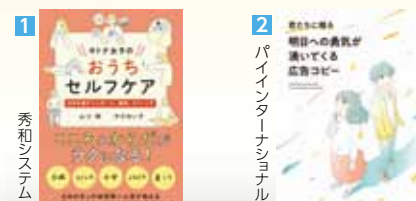


図書館

今月のおすすめ本

テーマ
「もやもやからの脱出」



1 オトナ女子のおうちセルフケア

山口 創・中川れい子／著
不安やストレスを抱える人が多いこの時代。自分でケアする方法を紹介します。

3 空の絵本

長田 弘／作 荒井良二／絵
空の表情が段々変わっていくのが色彩豊かに描かれています。

2 君たちに贈る 明日への勇気が湧いてくる 広告コピー

パイインターナショナル／編集
悩んだり、迷ったりしている人におすすめ。言葉の力を感じる1冊です。

4 どこかいきのバス

井上よう子／作 ぐすはら順子／絵
怒られて家出したばく。見上げると目の前には「どこか」行きのバスが止まった。

イベント情報

世界を知ろう ～ミャンマーってどんな国？～

図書館の多文化共生イベント「世界を知ろう」シリーズ。ミャンマーについて、イデアITカレッジ 阿蘇の鈴木俊郎副校長に話を聞きます。皆さんのご参加をお待ちしています。

と き 5月28日(土) 午後2時～4時
ところ 中央図書館ステップ

※各イベントの詳細はHPやフェイスブックでもお知らせしています

中央図書館 ☎0968(25)1111
泗水図書館 ☎0968(25)1115
七城図書館 ☎0968(25)1580
旭志図書館 ☎0968(25)3332

休館日

月曜日

※七城・旭志は(日)も休館

公民館

公民館が目指すこと

公民館は「つどう・つなげる・つづける・つかう ～まちづくり交流の場～」をテーマに掲げて活動しています。

～4つの「つ」～

- 【つどう】誰もが気軽に立ち寄って集まることで、新たな発見を生む。
- 【つなげる】人と情報・学び・まちをつなげ、交流を生み出す。
- 【つづける】ふるさとの歴史や文化を次世代に伝え、菊池の未来を創造する。
- 【つかう】学び、学んだことを活用し、地域課題の解決や地域づくりを進める。

公民館で学ぶ

公民館は市民の「学び」と「活動」を応援しています。新たなことにチャレンジしたいと思っている人は、近くの公民館へ気軽にお尋ねください。

主催講座を受講したい

1 広報きくち4月号・9月号と一緒に配布しているチラシをチェック。2 希望の講座に申し込む。3 講座に参加する。※定員に満たない講座は随時受け付けています

公民館を利用する

公民館にはさまざまな部屋があります。サークル活動や会議など、用途に合わせて利用してください。

借りる方法

1 予約ウェブサイト「菊池市公共施設予約システム」で部屋の空き状況を確認。2 利用したい日時で仮予約をする(団体登録時にIDが発行されています)。3 仮予約した日を含めて7日以内に公民館の窓口で申請書の記入と利用料の支払いをする。4 当日、利用する。

※インターネットが利用できない場合は電話で申し込みできます(平日午前8時30分～午後5時)
※初めて利用する人や前回利用したのが令和2年8月以前の方は、団体登録が必要です

「展示スペース」を利用しませんか

利用者が学習成果を発表する場としてギャラリーおよび廊下を展示スペースとして、公民館を利用できる団体に無料で貸し出しています。



↑予約はこちらから



↑詳しくはこちらから

中央公民館 ☎0968(25)1672
泗水公民館 ☎0968(25)2028
七城公民館 ☎0968(25)1580
旭志公民館 ☎0968(25)3332



キクロスホームページ



撮影：菊池広報(令和4年3月)

菊池短歌会 4月詠草

満開の花に降る雨現し世の祈つても尚叶わぬ願い
切り通す坂ゆ見下ろす大景終ひの住処を深く抱けり
落ちてなほ威儀を正せり白椿吾が人生の終章胸にぞ
助手席に眠りこけたる媼のせ軽トラが曲がり春の日暮る
唐突に羽音たかまり蜜蜂の大群が空を埋め飛び交う

小堀 久男
怒留湯 健蓉
中川 愛子
安藤 則子
川口 すみ子

旭志文芸教室俳句の会 3月詠草

ワクチンを終えたる夜半のすきま風
リピングへ初音届きて緩む顔
猫の恋しなやかそぶり猫パンチ
寅年の五回目の娘や花八つ手
二人居に余る野菜や春隣

稗田 達恵
中尾 ヨシコ
藤本 けい子
水谷 ミネ
芹川 蓉子

溪流短歌会 3月詠草

憧れの制服届く春の昼
用水の柳並木の芽吹きかな
地下街に沈みゆく肩春シヨール
雨粒の垂れて木の芽の光りけり
ひとつもじをグルグル巻いて肥後の味

五丁 義昭
藤本 アツ子
守田 惟誠
坂崎 ユキ子
青木 ユリ子

せせらぎ俳句会 3月例会

辛夷咲く母の墓前に手を合はす
雛飾る十一段を華やかに
句づくりの進まぬことよ春炬燵
一仕事終へて寛ぐ春炬燵
一声に天空展げ揚雲雀

吉田 和弘
岩木 敬治
加藤 妙子
川口 二子
隈部 輝子

万句の里俳句会 3月句会

七城短歌会 3月詠草

まだ寒き弥生の川面にいづくへか立つ時待ちいる如き鴨群れ
ひい孫の三人それぞれランドセル背負い見せ来し夢膨らませ
三・一一津波が襲うその下に人が呑まるる姿が浮かぶ
日毎来るいたずら好きの鴨なれど声きかぬ今日耳そばだつる
長かりし冬の暮らしに堪え来たり今日は二十度急に春来し

嶋田 晴美
緒方 寛子
井藤 和俊
渡辺 光夫
緒方 正俊

万句の里俳句会
せせらぎ俳句会
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151
藤本 ☎0968(38)4087
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
「里」短歌会／溪流短歌会 木原 ☎090(5284)2418
菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285